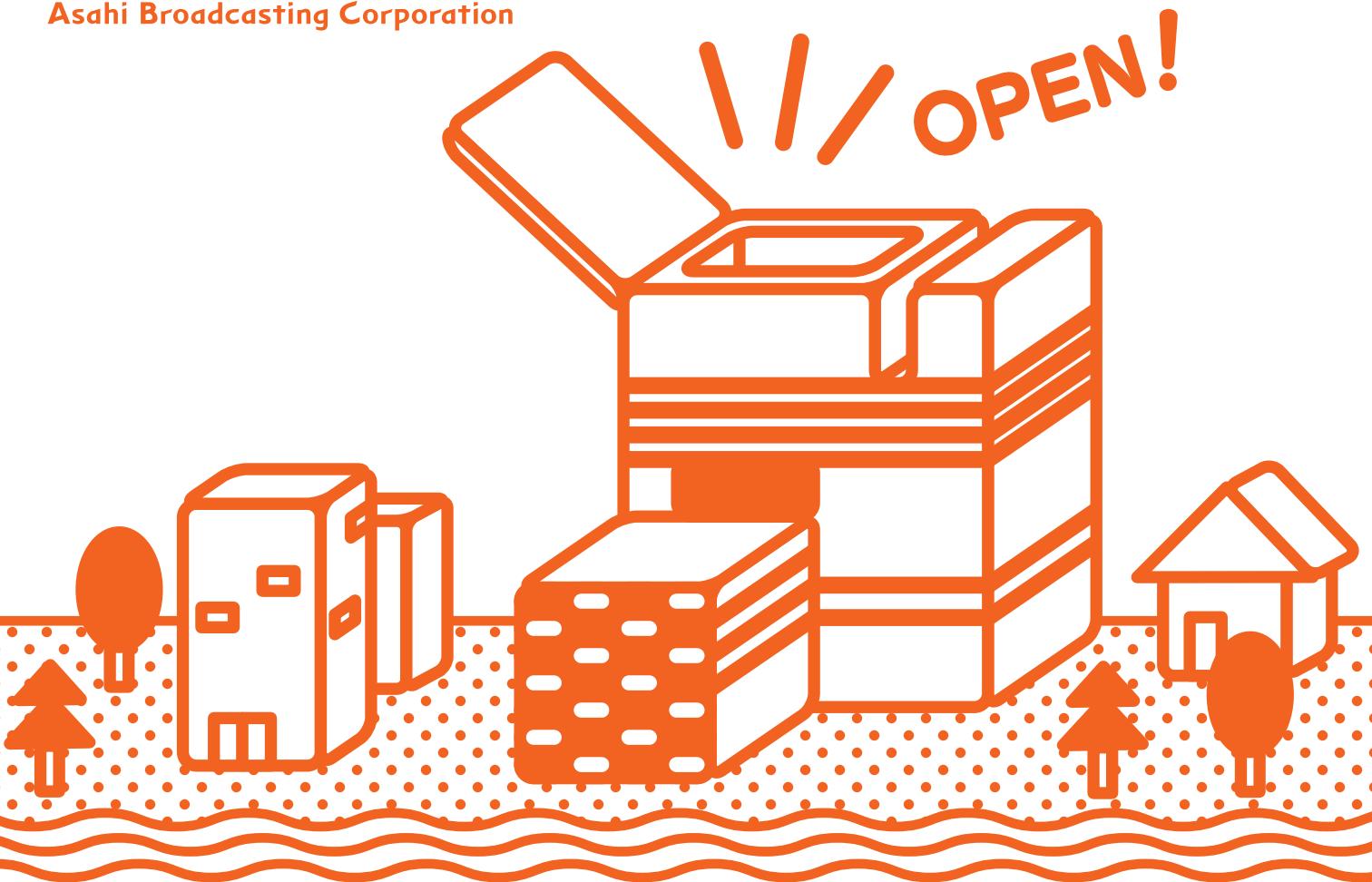


# ABC

Asahi Broadcasting Corporation



## 第 85 期 事業のご報告

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

□ ごあいさつ	1	□ ハイライト	9
□ テレビ	3	□ 連結財務諸表	10
□ ラジオ	5	□ 個別財務諸表	11
□ その他事業	6	□ 会社データ	12

朝日放送株式会社  
証券コード：9405

株主の皆様方には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私ども朝日放送は、当期に創立60周年を迎えることができました。これも皆様方の当社への変らぬ信頼とご支持の賜物と、深く感謝しております。ここに第85期の報告書をお届けいたします。

当連結会計年度の日本経済は、国内では東日本大震災や節電、海外では欧州の金融危機やタイの水害といった影響に悩まされました。こうしたなか、朝日放送グループでは、年度当初こそテレビスポットの出稿落ち込みやイベントの休止といった影響を受けたものの、6月以降の業績は急速に回復し、前年を上回るペースで推移しました。

その結果、当社グループの第85期の連結業績は、売上高が781億6千2百万円で、前連結会計年度に比べて14億7千万円(1.9%)の増収となりました。営業利益は44億6百万円で8億円(22.2%)の増益、経常利益は46億3千7百万円で8億8千8百万円(23.7%)の増益となりました。

一方、今年3月29日、クラシック音楽専用ホールとして30年間運営してまいりました「ザ・シンフォニーホール」譲渡の基本合意を締結し、18億2千6百万円の減損損失を計上しました。経営資源を番組制作やコンテンツ開発といった中核事業に集中させるための大きな決断でした。今後はより一層の収益力向上を図っていく所存です。

さて、当社は2011年度のテレビの平均視聴率で、ゴールデン、プライム、プライム2の三冠を獲得しました。ゴールデンのトップは1981年度以来、30年ぶりの快挙でした。全日は首位と0.1ポイント差の2位でしたが、2月以降は全日も1位となり、5月まで4か月連続で四冠を快走しています。念願の年間四冠奪取に向け、着実に進んでいるところです。

当社は今年度、ポスト60周年の新しい中期経営計画をスタートさせました。この3か年の中期経営計画は、社員一人一人が英知を結集して作り上げたものです。2012年度の連結業績数値目標は、売上高790億円、営業利益51億円、経常利益52億円。3年後の2014年度には、売上高818億円、営業利益64億円、経常利益65億円を目指します。

朝日放送は関西に根ざし、世界に向かって総合的な文化と情報を発信するリーディングカンパニーであり続けます。グループ各社の結束をさらに強化し、コンテンツ制作を中心とした創造力豊かな企業集団として、関西ナンバーワンの地位を確固たるものにしてまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年6月



代表取締役社長 脇阪聰史

## 中期経営計画 2012-2014

中期経営計画の立案にあたり、「みんなで作る中計」を大きなテーマとして、経営・従業員一体となって、10年後どういう会社でありたいか、当社が目指す姿として「朝日放送 10年ビジョン」を策定しました。

# 朝日放送 10年ビジョン

2012年1月5日

朝日放送は、このような会社でありたいと考えています。  
力をあわせ、心をひとつにして、  
わたしたちの目指す姿=ビジョンを実現してまいります。  
みなさま、これからも、どうぞ、よろしくお願いします。

### A. 「関西ナンバーワン、世界へ」

関西に根ざし、世界に向かって総合的な文化と  
情報を発信するリーディングカンパニー。

### B. 「家族をつなぐエンターテイナー」

親しみやすく、信頼されるコンテンツで  
人をつなぎ、地域をつなぎ、家族をつなぐ。

### C. 「OPEN↑楽しいABC！」

情報共有された、愛のあふれるオープンな会社。

ABC 10 years  
vision

この「朝日放送 10年ビジョン」実現のため、以下の5項目を、  
2012年度から3年間の「戦略目標」として設定しました。

### 2012-2014の「戦略目標」

1. 自由闊達で創造力豊かな人と組織をつくりあげる。
2. 全社一丸となって視聴率トップ、聴取率トップ、売上げトップを確固たるものとし、売上高経常利益率6%以上を維持する。
3. コンテンツ制作力を強化し、ABCファンをさらに増やす。
4. 放送外収入を拡大し、ビジネスエリアを世界に広げる。
5. グループ各社と情報共有し、結束をさらに強化する。

今後、コンテンツ制作を中心とした創造力豊かな企業グループであり続けることを最重要視し、テレビ・ラジオを中心に関西ナンバーワンの放送局であり続け、放送・放送外にわたりビジネスエリアを世界に広げることで収益力の向上を目指します。

### ●2014年度 業績数値目標(連結)

売上高	81,800	百万円
営業利益	6,400	百万円
経常利益	6,500	百万円
売上高経常利益率	7.9%	

## ゴールデン、プライム、プライム2帯の三冠

全日(午前6時～午前0時)	8.3%	2位
ゴールデン(午後7時～10時)	12.6%	👑 1位
プライム(午後7時～11時)	13.3%	👑 1位(5年連続)
プライム2(午後11時～午前1時)	9.4%	👑 1位(10年連続)



「Oh!どや顔サミット」  
毎週金曜 午後9時



「大改造!!劇的ビフォーアフター SEASONⅡ」  
毎週日曜 午後7時58分

### ●ドキュメンタリー「年金不信」が最優秀賞受賞

日本民間放送連盟賞の2011年度テレビ報道番組部門で、当社制作のドキュメンタリー「年金不信」(5月放送)が最優秀賞を受賞しました。

「年金不信」は障害を負ったにもかかわらず保険料の支払いが不足したなどの理由で障害年金をもらえない、いわゆる「無年金障害者」の問題にスポットをあてた番組です。

「丁寧な取材と映像構成により、無年金障害者が直面する現実の厳しさを伝え、国民に十分に理解されていない障害年金の問題点を啓発した。」と高い評価を受けました。

当期の視聴率は、ゴールデン帯、プライム帯、プライム2帯で首位となり、2009年度以来の三冠を達成しました。全日帯は、首位局と0.1ポイント差で2位でした。

なかでもゴールデンの年度首位は1981年度以来30年ぶりとなっており、各時間帯とも視聴者の皆様から安定した支持をいただきました。

### ●ネット番組

当社発のネット番組では、火曜午後8時の「たけしの健康エンターテインメント!みんなの家庭の医学」は当期平均で11.9%と、前期より1.9ポイントアップしました。昨年4月にスタートしました金曜午後9時のバラエティ「Oh!どや顔サミット」は当期平均11.2%を記録、また、日曜午後8時の「大改造!!劇的ビフォーアフター SEASONⅡ」も13.1%と安定した視聴率を誇っています。

単発番組では、元日恒例となりました「芸能人格付けチェック!これぞ真の一流品だ!2012 お正月スペシャル」が今年も20.9%と高視聴率を記録し、年末年始の視聴率を牽引しました。また、昨年までの「M-1グランプリ」に変わる新企画「KAMIWAZA～神芸～2012」を1月に放送しました。世界中から集まったパフォーマーが人間の限界に挑む究極のパフォーマンスで競う大会で、大きな感動と醍醐味を味わえるエンターテインメントに育てたいと考えています。2月に放送しました「必殺仕事人2012」は21.0%で、同時帯視聴率は東西ともに1位でした。



「芸能人格付けチェック!これぞ真の一流品だ!」  
2012 お正月スペシャル



## ●ローカル番組

朝帯・深夜帯のベルト番組が引き続き好調で、視聴者の皆様から安定した支持を得ています。平均視聴率は、午前6時からの「おはようコールABC(2部)」が6.0%、6時45分からの「おはよう朝日です」も11.1%と、昨年度よりアップしていて、「関西の朝はABC」という地盤を揺るぎないものにしています。



「おはようコールABC」  
毎週月～金曜 午前5時

「おはよう朝日です」 毎週月～金曜 午前6時45分

また、午後11時台の「ナイトinナイト」(月～木)は10.7%、金曜の「探偵!ナイトスクープ」は18.8%を記録し、プライム2帯10年連続トップの原動力になっています。

一方、10月にスタートした夕方の報道番組「キャスト」は下半期平均で第1部が6.4%、第2部が7.1%でした。朝帯・深夜帯に加え、夕方帯の強化のため今後も注力してまいります。



「キャスト」 毎週月～金曜 午後4時50分

## ●スポーツ番組

全6試合を放送したサッカーの「ロンドン五輪アジア地区最終予選」やフィギュアスケートの「グランプリシリーズ」など大型スポーツ番組が好調です。また、阪神タイガース主催のナイター中継は10試合を放送し、平均視聴率は12.2%と安定した支持を得ました。

## ●創立60周年記念特別番組

11月に「復活!!すんげー!BEST10」、「漫才パレード2011」を、12月に人気作家・湊かなえさんの書き下ろしによるスペシャルドラマ「境遇」を放送。「境遇」は16.1%と、同時帯トップの高視聴率を記録しました。



「復活!!すんげー!BEST10」



スペシャルドラマ「境遇」

## ●プロジェクト関連

全社を挙げて積極的に取り組んでいる地球環境問題をテーマにした特別番組「ガラスの地球を救え スペシャル」は当期で9回目となりました。

また、いじめ・虐待など、子どもを巡る問題に正面から向き合い、子どもの未来について考えるキャンペーン「ABC子ども未来プロジェクト」では、特別番組「熱血!ドリームティーチャー～子どもの夢かなえます～」を8月に放送しました。

※視聴率は関西地区、ビデオリサーチ調べ



## ● 平日平均聴取率で首位をキープ

当期の聴取率は、年4回実施される関西圏ラジオ聴取率調査で、週平均(月～日)が、4月度、6月度(野球インシーズン)で1.3%、10月度、12月度(野球オフシーズン)で平均1.2%でした。

また、平日平均(月～金)では、4月度、6月度が1.5%、10月度、12月度が1.3%と、年4回の調査すべてで首位を獲得しています。

## ● 番組

昨年4月、看板番組の「おはようパーソナリティ道上洋三です」で、12年ぶりに新アシスタントが誕生しました。一般公募をし、オーディションで選ばれたのは当時二十歳の久野愛さんで、現役女子大生ということで話題になりました。

また、午後3時からの「武田和歌子のぴたっと。」でも、産休を終えた武田アナウンサーが番組に復帰、こちらも新たなスタートをきりました。

土曜の夜にはパソコンなどでラジオが聞けるradikoのユーザーをターゲットにした新番組、「NMB48学園」をコンテンツ事業部と連動した形で編成、番組サイトは当社ラジオのサイトのなかでもトップクラスの訪問者数を獲得しています。



「おはようパーソナリティ道上洋三です」

## ● 創立60周年記念

創立60周年記念関連としては、12月に2時間のオリジナル大型ラジオ時代劇「元禄・堂島米市場螢舞」を放送しました。当社社屋がある堂島を舞台にした元禄の時代劇で、好評を得ました。また、1月には6日間連続で、落語会と生放送を連動させたイベント「上方落語をきく会」を実施しました。上方落語の重鎮から若手までが技の競演を見せ、有料イベントとしても大成功を収めました。そして、60周年記念の締めくくりとして、3月に「ABCホームソング」の2枚組CDを発売しました。当社開局以来、制作されたオリジナル曲は440曲あり、その中から選りすぐりの44曲が収められています。



「元禄・堂島米市場螢舞」



「上方落語をきく会」

## ● イベント関連

恒例の秋のラジオまつりを創立60周年記念として初めて2日間開催し、両日合わせて3万5千人の集客がありました。3月恒例の「スプリングフェスタ2012」のほか、番組の公開生放送も多数行い、いずれも当社ラジオの高い集客力を発揮し盛況でした。



## ● イベント事業

当社創立60周年記念事業として、「フェルメールからのラブレター展」を昨年6月から10月まで京都市美術館で開催しました。この美術展は、修復後世界初公開の「手紙を読む青衣の女」をはじめとする3点のフェルメール作品が話題を呼び、約40万人を動員しました。

また、恒例のロックフェスティバル「SUMMER SONIC大阪2011」では、2日間で歴代最高記録となる観客7万5千人を集め、大盛況でした。ほかにも、アニメ「プリキュア」シリーズを題材にした「プリキュア・ミュージカル」は今年も系列各局で全国展開し、好評を博しました。



フェルメールからのラブレター展



SUMMER SONIC大阪2011



プリキュア・ミュージカル



マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメント

スポーツイベントでは、秋に「マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメント」を開催し、河野晃一郎選手が6ホールに及ぶプレーオフを制し、悲願の初優勝を遂げる劇的な大会となりました。

クラシック音楽関係では、原発事故で海外オーケストラの来日の中止が続くなか、エフゲニー・キーシン、ヨーヨー・マ、イ・ムジチ合奏団など世界的な演奏家が熱演を聞かせてくれました。

ABCホールは、当期も関西小演劇界の旗艦劇場としてフル稼働し、一年先の予約も取りづらいほどの人気となっています。

出資映画では、「探偵はBARにいる」「ツレがうつになりまして」「プリキュア・シリーズ」などのヒット作をはじめ、「LIFE」「はやぶさ 遥かなる帰還」などの良質の作品に出資しました。



エフゲニー・キーシン  
ピアノ・リサイタル



イ・ムジチ合奏団



## ●コンテンツ事業

スマートフォンの普及で、携帯（フィーチャーフォン）サイトの有料会員は減少しましたが、一方で、スマートフォンサイトを7月に開設、11月から月額課金を開始しました。番組連動アプリの開発強化などでコンテンツを充実させて、有料会員の増加を図っています。



番組の二次利用では、「上沼恵美子のおしゃべりクッキング」の月刊テキストをはじめとした関連本が好調です。また、昨年12月にリリースされた「ぱちんこ必殺仕事人Ⅳ」は根強い人気で、ロイヤリティ収入アップに貢献しています。

海外へのコンテンツビジネス展開は、香港・台湾・韓国・タイなど東南アジアを中心に「ビフォーアフター」「家庭の医学」の番組販売が昨今の円高にもかかわらず順調です。また、ロンドンに本拠を置くテレビ番組企画制作会社フリーマントルメディアや、米国の制作会社ピルグリムフィルムズなどと共に、番組のコンセプトや構成・具体的な制作手順を販売するフォーマットビジネスにも着手しました。アジアに限らず、欧米マーケットも目指し新たな収益源に育てるチャレンジを行っています。

## TOPICS

### ●世界展開を視野に オリジナルテレビ番組フォーマットを開発

当社は、株式会社電通、フリーマントルメディアとともに、世界展開を視野にオリジナル番組フォーマット「ラブグリッド」を共同開発しました。

「ラブグリッド」はいま各国でハイトレンドなテレビ番組ジャンルであるゲームショーおよび恋愛バラエティで、今後の世界展開に先駆けて、日本版パイロット番組を2月に放送しました。

3社共同で、「ラブグリッド」のコンセプトや構成、具体的な制作手順をパッケージ化し、新たな知財商品として積極的に活用することで世界展開いたします。



### ●～なんとということでしょう！～

#### 「大改造!! 劇的ビフォーアフター」がゲームに!

家族応援バラエティ番組「大改造!! 劇的ビフォーアフター」が、ソーシャルゲームになりました。

家が抱える問題を、劇的なリフォームで解決する事で家族に幸せをもたらす建築士＝「匠」。その匠にプレイヤー自身がなり、ミッションを進行して資材などを集めて、リフォームの依頼に挑戦していく問題解決型ゲームです。


- 利用料金:  
基本プレイ無料(アイテム課金型)
- 提供プラットフォーム:  
フィーチャーフォン向けSNS「GREE」
- 対応 OS:  
フィーチャーフォン(スマートフォン対応も今後リリース予定)
- 対応機種:  
docomo、au、Softbank Flash Lite1.1対応機種  
(一部機種を除く)
- アクセス方法:  
「GREE」トップ <http://m.gree.jp> > ゲーム > カテゴリで探す「RPG」> 大改造!! 劇的ビフォーアフター  
※「GREE」への会員登録が必要です。

# CSR

## 「OPEN↑推進部」始動

当社では近年企業に求められている「CSR=企業の社会的責任」をより果たしていくため、今年4月の組織再編で「OPEN↑（オープンアップ）推進部」を発足させました。

これはABCがここ数年来進めてきた社会貢献活動、例えば「ABCこども未来プロジェクト」での「出前授業ABCChan教室」「小中学生!ABC社屋見学会」、「環境キャンペーン」での「みんなの木」、災害発生時の「災害支援募金」などを集約して実施する部署で、より効果的なCSR活動を目指しています。

また、ABCの「ブランディング」、社屋界隈に賑わいを創出する「ほたるまちの活性化」を目的として、放送局ならではの新規イベント・キャンペーンなども打ち出していく予定です。

出前授業

えびちゃん  
**ABCChan 教室**

部署名の由来となった10年ビジョンのキャッチフレーズにもあるとおり、視聴者・リスナー・地域のみなさんにも「楽しいABC」を実感していただき、これまで以上にABCのブランドイメージを「↑（アップ）」させていければと考えています。

ABC こども未来プロジェクト  
小中学生 春休み  
ABC社屋見学会



みんなの木

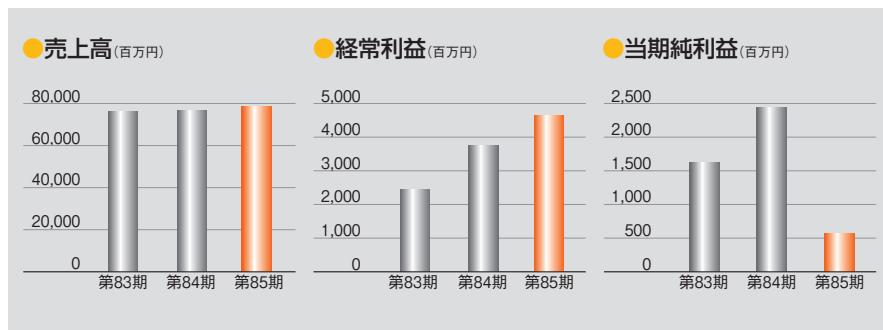


## ●第85期連結業績

売上高 ..... **781億6千2百万円**

経常利益 ..... **46億3千7百万円**

当期純利益 ..... **5億7千4百万円**



当社グループの売上高は、前連結会計年度に比べ14億7千万円(1.9%)の増収となりました。

費用面では、売上原価は増加したものの、主に放送事業を中心にコスト削減を進めた結果、経常利益は8億8千8百万円(23.7%)の増益となりました。

一方、「ザ・シンフォニーホール」に係る固定資産減損損失などにより特別損失18億7千6百万円を計上したことや、税制改正に伴う法定実効税率の変更による繰延税金資産の取崩しなどの影響もあり、当期純利益は18億6千3百万円(△76.4%)の減益となりました。

## ●セグメント

### ●セグメント別売上高

放送事業 ..... **685億1千9百万円**

ハウジング事業 ..... **88億4百万円**

ゴルフ事業 ..... **8億3千7百万円**

### ●ハウジング事業

震災による影響はさほど大きくなく、主力の住宅及び住関連事業において、新規会場のオープンや既存の会場への新規出展誘致などに努めました。これにより、売上高は、前連結会計年度に比べ4億8千1百万円(5.8%)の増収となりました。

### ●ゴルフ事業

震災による自粛ムードや台風によるクローズで来客数が減少し、売上高は、前連結会計年度に比べ1千万円(△1.3%)の減収となりました。一方でコストの見直しを図るなどし、営業利益は増益となりました。

### ●放送事業

震災の影響により、主力のテレビスポット収入が年度当初に前年同期の実績を下回りましたが、その後、上回るペースで推移し累計では増収となりました。子会社の業績も貢献して、売上高は、前連結会計年度に比べ10億円(1.5%)の増収となりました。



## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	34,800	28,972
固定資産	59,821	64,167
有形固定資産	40,448	44,245
無形固定資産	838	1,342
投資その他の資産	18,534	18,579
資産合計	94,621	93,139
(負債の部)		
流動負債	14,023	9,726
固定負債	23,700	27,138
負債合計	37,723	36,865
(純資産の部)		
株主資本	52,817	52,651
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	44,408	44,242
自己株式	△ 500	△ 500
その他の包括利益累計額	648	428
その他有価証券評価差額金	648	428
少数株主持分	3,432	3,193
純資産合計	56,898	56,273
負債純資産合計	94,621	93,139

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
売上高	78,162	76,691
売上原価	51,058	50,127
売上総利益	27,104	26,563
販売費及び一般管理費	22,697	22,957
営業利益	4,406	3,605
営業外収益	445	406
営業外費用	214	263
経常利益	4,637	3,748
特別利益	—	470
特別損失	1,876	669
税金等調整前当期純利益	2,760	3,550
法人税、住民税及び事業税	2,028	856
法人税等調整額	△ 101	89
少数株主損益調整前当期純利益	833	2,605
少数株主利益	259	166
当期純利益	574	2,438

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,610	5,823
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,568	△ 1,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,373	△ 3,998
現金及び現金同等物の増減額	4,669	28
現金及び現金同等物の期首残高	12,695	12,666
現金及び現金同等物の期末残高	17,364	12,695

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。



## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	29,478	23,807
固定資産	47,279	52,193
有形固定資産	28,799	33,146
無形固定資産	779	1,250
投資その他の資産	17,701	17,796
資産合計	76,757	76,001
(負債の部)		
流動負債	12,017	7,988
固定負債	14,729	17,766
負債合計	26,747	25,754
(純資産の部)		
株主資本	49,362	49,820
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	40,953	41,410
自己株式	△ 500	△ 500
評価・換算差額等	647	426
その他有価証券評価差額金	647	426
純資産合計	50,010	50,247
負債純資産合計	76,757	76,001

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
売上高	64,390	63,512
売上原価	40,805	40,529
売上総利益	23,585	22,982
販売費及び一般管理費	20,593	20,675
営業利益	2,991	2,307
営業外収益	299	242
営業外費用	209	261
経常利益	3,081	2,288
特別利益	—	454
特別損失	1,836	318
税引前当期純利益	1,244	2,425
法人税、住民税及び事業税	1,403	318
法人税等調整額	△ 109	276
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 49	1,830

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。



## ● 会社の概況 (平成24年3月31日現在)

会社名 朝日放送株式会社  
Asahi Broadcasting Corporation

創立 昭和26年3月15日

資本金 52億9,980万円

従業員数 641名

事業内容 放送法によるテレビ放送事業  
およびラジオ放送事業 他

本社 〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号  
Tel.(06)6458-5321(代表)

## ● 役員 (平成24年6月28日現在)

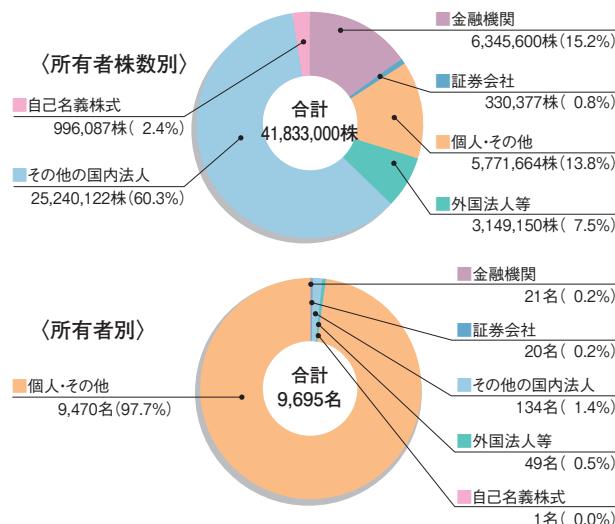
代表取締役会長	渡辺 克信	取締役	小林 研一
代表取締役社長	脇阪 聡史	取締役	大塚 義文
代表取締役専務取締役	和田 省一	取締役	沖中 進
常務取締役	田仲 拓二	取締役	山本 晋也
常務取締役	古川 賢三	取締役	金澤 一
取締役	山口 昌紀	常勤監査役	木下 栄一
取締役	坂井 信也	常勤監査役	山本 良生
取締役	早河 洋	監査役	野村 正朗
取締役	横井 正彦	監査役	佐藤 茂雄
取締役	尾崎 裕	監査役	平澤 正英

## ● 株式の概況 (平成24年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 144,000,000株
- 発行済株式総数 41,833,000株
- 株主数 9,695名
- 大株主

株主名	所有株式数	議決権比率
株式会社朝日新聞社	6,224,900 株	15.2 %
株式会社テレビ朝日	3,877,600	9.5
公益財団法人香雪美術館	2,930,000	7.2
学校法人帝京大学	1,554,000	3.8
朝日新聞信用組合	1,500,000	3.7
日本生命保険相互会社	1,256,500	3.1
大阪瓦斯株式会社	1,065,000	2.6
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NORTHERN TRUST (GUERNSEY) LIMITED - POLAR CAPITAL FUNDS PLC	1,000,000	2.4
近鉄バス株式会社	800,000	2.0
株式会社竹中工務店	776,600	1.9

## ● 株式分布状況 (平成24年3月31日現在)



● ネット番組



たけしの健康エンターテインメント!みんなの家庭の医学

毎週火曜 午後8時～8時54分



上沼恵美子のおしゃべりクッキング

毎週月曜～金曜 午後1時05分～1時20分



大同生命presents ヒットの泉～ニッポンの夢チカラ～

毎週日曜 午前9時30分～10時



パネルクイズ アタック25

毎週日曜 午後1時25分～1時55分

● ローカル番組



雨上がりのやまとナゼ?しこ

毎週火曜 午後11時17分～深夜0時17分



見知らぬ関西新発見! みしらん

毎週土曜 午前10時～11時40分



熱血!人情派コメディ しゃかりき駐在さん

毎週日曜 午後0時～0時55分



東西芸人いきなり!2人旅

毎週日曜 午後11時15分～深夜0時10分

# 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

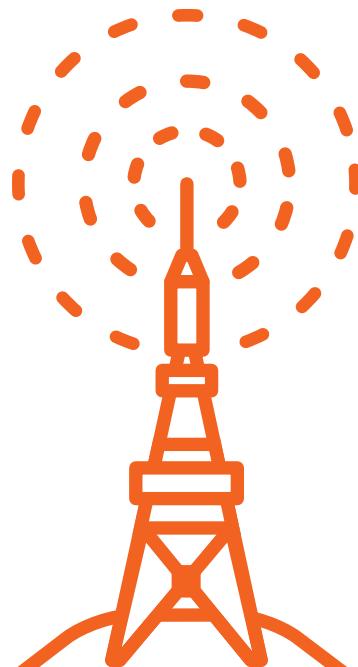
株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-176-417

(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。  
<<http://asahi.co.jp>>



<http://asahi.co.jp>

当社のホームページもご覧ください。

朝日放送株式会社

〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号  
TEL 06-6458-5321 (代表)



この事業のご報告は、環境に配慮し、  
植物油を使用しております。